

**製品名: eIF2 $\alpha$  ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21372**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:36kD;Observed MW:36kD

**抗原情報**

遺伝子名	EIF2S1
別名	EIF2S1;EIF2A;Eukaryotic translation initiation factor 2 subunit 1;Eukaryotic translation initiation factor 2 subunit alpha;eIF-2-alpha;eIF-2A;eIF-2alpha
遺伝子 ID	1965
SwissProt ID	P05198
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

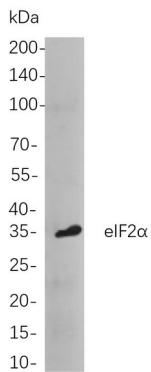
**背景**

細胞局在: 細胞質。翻訳開始因子 EIF2 は、タンパク質合成開始の最初の制御段階を触媒し、開始 tRNA の 40S リボソームサブユニットへの結合を促進する。結合は、メチオニル tRNA、EIF2、および GTP の三元複合体として起こる。EIF2 は、36kD の EIF2- $\alpha$  サブユニット (EIF2S1)、38kD の EIF2- $\beta$  サブユニット (EIF2S2; MIM 603908)、および 52kD の EIF2- $\gamma$  サブユニット (EIF2S3; MIM 300161) という 3 つの非相同サブユニットから構成される。三元複合体の形成速度は EIF2- $\alpha$  のリン酸化状態によって調節される (Ernst et al., 1987 [PubMed 2948954])。[OMIM 提供、2010 年 2 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



eIF2 $\alpha$  ウサギ mAb を用いた MCF7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。